

私たちは、生涯にわたり臨床検査技師としてキャリアを積み上げていけるよう、学生一人ひとりが描く未来予想図(キャリアデザイン)を尊重し、未来へナビゲートしていきます。

Phase 1

Phase 2

Goal to achieve

大学学部教育
(卒業所要単位:4年間129単位以上)

・教養および汎用的能力
・医療人として倫理観と豊かな心(心)
・臨床検査技師に必要な医学的知識
・高度な専門知識と技術(臨床検査学)

臨床検査技師国家試験合格

Expert

多様な職種
専門性を活かす

臨床検査の
知識を活かして
活躍

検査機関、医薬品メーカー、保健所などの公的機関や治療施設支援機関(SMO)等

医療専門職

高度医療専門職者
として次代をリード

- 高品質な臨床検査情報の提供を実現するために、臨床経験を積み、高度な知識と技術を身につけ専門性を高める。

- わからないものや見えないものをサイエンスの視点で捉え、追求できる生物学者(Biomedical Scientist)を目指す。

- 他職種と連携しチーム医療へ貢献する感染制御チーム(ICT)、抗菌薬適正使用チーム、栄養サポートチーム(NST)、糖尿病療養指導チーム等

- 臨床検査技師は生涯自己研鑽を継続する。その一つとして、成長段階に応じて高度な資格(スペシャリスト)を取得し、更なる専門性を高める。またエキスパートとして、専門分野で学会発表する。

病院や診療所

病院や診療所で実務経験5年の実績を経て、飛躍のため大学院へ進学

(資格一例)

- ・一級臨床検査士(臨床検査技術と業務管理に関する技能を認定する最高難度の資格)
- ・二級および緊急臨床検査士(臨床検査の基本的な知識と技術を証明)
- ・認定臨床微生物検査技師(臨床微生物学と検査に関する技能を証明)
- ・認定血液検査技師(血液学的検査に関する技能を証明)
- ・認定輸血検査技師(輸血に関する知識と的確な検査力を証明) など

Goal 1

臨床検査の専門性を活かす職種

- 検査機関、医薬品メーカー、保健所などの公的機関や治療施設支援機関(SMO)等で、臨床検査の発展に貢献

Goal 2

臨床検査業務全般におけるゼネラリスト

Goal 3

各検査領域のスペシャリスト

Goal 4

臨床検査部門管理者

高度な専門知識を有し医療現場のリーダーとして活躍

Goal 5

大学等の教官となり後進を育成(助教・講師・准教授・教授)

- 「臨床」「教育」「研究」の推進役としての役割を發揮し、臨床検査の発展へ貢献

Goal 6

国内外の研究所、企業の開発部門など

- 国内外研究機関との共同研究推進、学会等での学術発表、論文発表を通じ研究業績を積み上げる

臨床検査学

- 臨床検査学における高度な専門知識、技術の修得
- 高度専門資格の取得(細胞検査士、遺伝子分析科学認定士(初級)、二級臨床検査士(8分野))など

医学および医療科学の分野

医療科学の分野に進学・修得し、臨床検査学と合わせた2つ目の専門性を付加

大学院博士課程
(保健学博士:3年間 / 医学博士:4年間)

臨床検査学

- 将来の教育者および研究者としての資質向上(研究技術等の確立)
- 海外大学への留学等により国際的知見の獲得

・医学および医療科学の分野
・海外大学への留学等

- 将来の教育者および研究者としての資質向上(研究技術等の確立)
- 海外大学への留学等により国際的知見の獲得

私たちは、生涯にわたり臨床工学技士としてキャリアを積み上げていけるよう、学生一人ひとりが描く未来予想図(キャリアデザイン)を尊重し、未来へナビゲートしていきます。

Phase 1

Phase 2

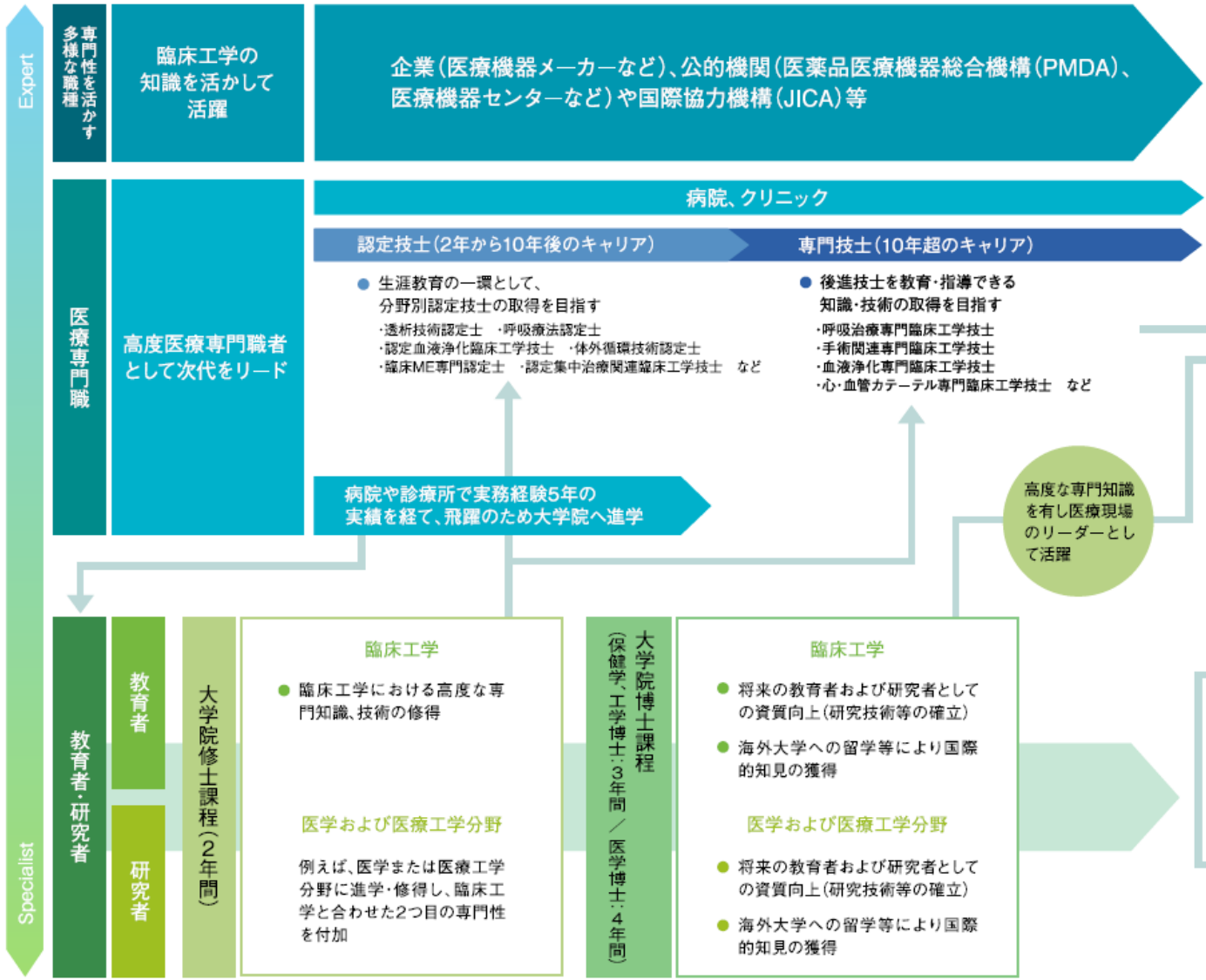
Goal to achieve

大学学部教育
(卒業所要単位: 4年間129単位以上)

・教養および汎用的能力・医療人として倫理観と豊かな心
・高度な専門知識と技術(臨床工学)
・第2種ME技術実力検定試験合格

臨床工学技士国家試験合格

臨床工学技士に必要な医学的知識



Goal 1

臨床工学の専門性を活かす職種

● 企業(医療機器メーカーなど)、公的機関(医薬品医療機器総合機構(PMDA)、医療機器センターなど)や国際協力機構(JICA)等で、臨床工学の発展に貢献

Goal 2

臨床工学業務全般におけるゼネラリスト

Goal 3

各専門領域におけるスペシャリスト

Goal 4

臨床工学部門管理者

Goal 5

大学等の教官となり後進を育成(助教・講師・准教授・教授)

● 「臨床」「教育」「研究」の推進役としての役割を發揮し、臨床工学の発展へ貢献

Goal 6

国内外の研究所、企業の研究・開発部門など

● 国内外研究機関との共同研究推進、学会等での学術発表、論文発表を通じ研究業績を積み上げる